

令和 4 年度都留市地域公共交通会議及び 都留市地域公共交通活性化協議会 第 2 回会議 会議録

日 時：令和 5 年 1 月 25 日（水）13：30～14：30

場 所：都留市役所 3 階 大会議室

出席委員：山口哲央会長、鈴木健大委員、三枝秀雄委員、渡邊雅彦委員、岩澤泉委員、鶴田寛委員、
古屋毅委員（代理者：小田切様）、土屋忠男委員（代理者：馬場様）、古屋広幸委員、
金子哲也委員、秋山裕保委員、奥田壮一委員、紫村聡仁幹事、清水敬幹事、齊藤浩稔幹事
矢島亘幹事

事務局：矢野地域環境課長、亀田地域環境課長補佐、山田地域振興担当リーダー

事業者：株式会社ケー・シー・エス 城平徹様、齊藤直輝様

欠席委員：高橋弥尚委員

1 開 会（司会：矢野課長）

2 市長あいさつ（公務のため、矢野課長代読）

次第 2 の市長あいさつにつきましては、本日、他の公務と重なりあいさつが叶いませんが、市長から委員の皆様には、コロナ禍において公共交通機関の利用者の減少や、今後における移動手段を地域ぐるみでどう確保していくのかといった様々な課題を抱えている中、都留市地域公共交通計画の策定に向けた市内の公共交通の実態を整理し、課題や取り組むべき点について、ご協議いただきたく、地域住民が利用しやすく、安全かつ快適な地域公共交通を確立するため、利用者、事業者、行政が協働し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図っていくことが不可欠でありますので、委員の皆様には、その働きかけをお願いするとともに、公共交通が「地域の足」として持続可能なものとなるよう、忌憚のないご意見をいただけますようくれぐれもお願いをと、申しておりました。

3 協議事項

（1）令和 4 年度市内循環バス事業及び予約型乗合タクシー事業について

資料 1-1 により事務局から協議会による事業実施状況の確認・評価を必要とする旨、今後は評価改善ため利用の伸び悩みに対する多角的な検討を行っていく旨を説明。

（2）令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について

資料 1-2 により事務局から一次評価を本協議会にて行い、当評価を基に地方運輸局等において二次評価を行う旨、今回の市民調査や交通事業者へのヒアリングなどを踏まえて今後の計画策定や事業の遂行をしていく旨説明。

（3）都留市地域公共交通計画の策定に向けた各種調査結果について

令和 4 年度では事前調査事業として市民アンケートのほか、交通事業者・大学生へのヒアリング調査を行っており、各種調査結果から地域にとって望ましい公共交通の在り方を検討予定。

資料 2-1 , 2-2 , 2-3 の通り、都留市地域公共交通計画の策定に向けた各種調査結果について株式会社ケー・シー・エスから説明。

【質問・意見等】

鈴木委員：本市では、3,400 人ほどの学生からなる特徴がある。

ゼミの大学生へヒアリングをした際の意見としては、坂が多く、自転車の保有割合が低く、自動車についても所有割合が低いこと、アンケートにおいても、大学周辺の日用品の需要以外は、富士吉田や甲府や県外などへ足を延ばす。また衣服などはオンラインで購入するなどの意見が見受けられた。こういった行動様式からの移動需要としては、シェアモビリティや、スマホで予約のできる乗合タクシーやカーシェアなどが長い時間（朝晩深夜）に活用できるよう希望する意見などもあった。

山口会長：大学生の意見に加え、昨年（6～7 月）のふれあい集会のなかで意見があった部分も計画策定の資料としていただきたい。

事務局・KCS：承知した。

鶴田委員：資料 2-1 18 ページ（6）のアンケート結果では、わからないという結果が多数を占めているが、その原因についても考察を加えていただきたい。

事務局・KCS：承知した。

協議事項 3（1）（2）（3）については承認

4 報告事項

（1）道の駅つる線の路線延伸について

資料 3 により事務局から説明

路線について前回の第 1 回の会議において承認された、道の駅つる線の路線延伸についての現在の進捗状況を報告。その後、ルートの説明。（現在運行している路線の始発及び終着の停留所を谷村町駅から都留文科大学前駅まで 1.95 km 2.04 km 延伸し、経路については、谷村駅から都留第一中学校入口、柳田橋、都留興譲館高校北、おかじま食品館、田原三丁目、都留文科大学入口、都留文科大学前駅までを運行するルートとしている。）

また、今年の令和 4 年 7 月に関東運輸局山梨運輸支局長宛に依頼文を提出し、事業者においては、関東運輸局山梨運輸支局へ「運行計画の変更届」及び、関東運輸局へ「上限運賃の設定の認可申請」を 10 月に行い、11 月に認可をいただいている旨と、現在は、令和 5 年 4 月 3 日からの運航に向けて、時刻表や周知資料等の作成中である旨を報告した。

報告事項 4（1）については質問等なし

5 その他

秋山委員：(情報共有) 令和元年度より地域公共交通優良団体への褒賞が行われた件について、この賞は、住民やNPO法人などの地域の方の参加、地域にあった取り組み、持続性が見込まれる事業を対象としている。

令和4年度は前橋市(群馬県)、北杜市(山梨県)が表彰された。北杜市に関しては移住者が多いという地域特性の活用を主眼に、バスサポートとして郵便局などを待合所として利用したり、そこでカイロやマスクを渡すなどの地域での好循環を好事例と評価され表彰にいたった。都留市においても大学生が多いという地域特性を生かした公共交通プランを検討していただきたい。

6 閉 会 (14時30分終了)